

CSR推進体制

方針

KDDI

CSR推進の考え方

KDDIの事業の基盤となるCSR活動として、多様なステークホルダーとの対話の機会を通じた事業改善、CSR調達、ダイバーシティ&インクルージョンの推進、事業継続計画(BCP)対応などがあります。これらとともに、事業活動によって生じる社会への影響を自社のバリューチェーンに則して把握し、発生する社会課題を、商品やサービスの提供を通じて解決するCSR活動を展開しています。

事業を通じたCSR活動と事業を支えるCSR活動をともに推進していくことで、KDDIは「事業の発展」と「持続可能な社会の発展」を両立していきます。

体制

KDDI

CSR推進体制

KDDIにおける経営とCSRの戦略的な統合および全社CSR活動推進のための施策は、CSR・環境推進室が企画・立案しています。CSRの方針策定や重要な案件については、コーポレート統括本部長(代表取締役執行役員副社長)を委員長、CSR・環境推進室を事務局とする「CSR委員会」(年2回開催)で議論・決定しています。審議内容は定期報告として経営会議に報告されます。

KDDIは、CSR・環境推進室が推進役となってCSR委員会での策定事項を、国内外の関連部門へ展開し、部門横断的な活動を行っています。また、委員会の下には「人権部会」「環境部会」の2つの部会を置いています。

なお、CSR・環境担当役員については、CSR・環境課題のKPI達成度が賞与に連動しており、責任の所在を明確にした体制になっています。

■ 2016年度 CSR委員会での主な議題

- ・第4期環境保全計画の策定(「KDDI GREEN PLAN 2017-2030」)
- ・国内外のCSRTピックスの共有

■ 人権部会

KDDI人権方針にもとづき、KDDIグループ全体の事業活動において、人権を尊重していくための施策等を随時、協議します。

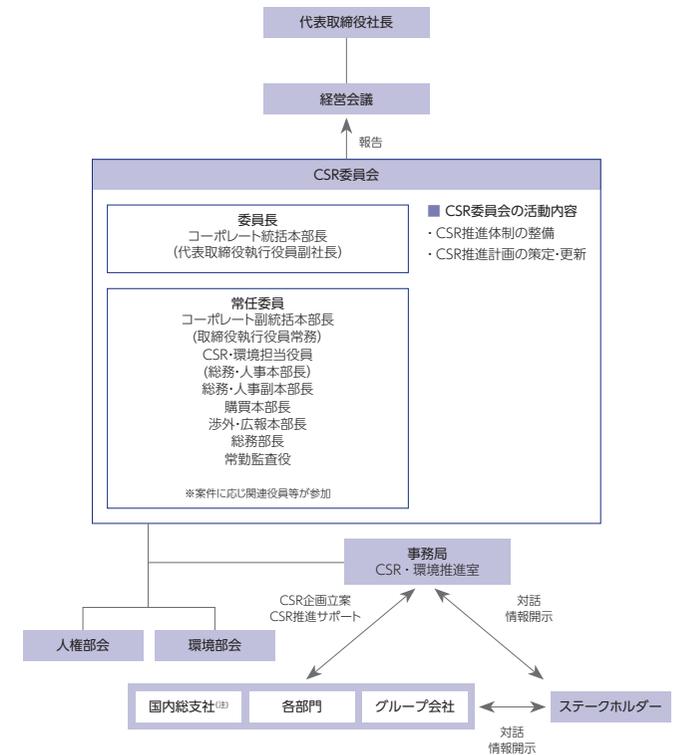
人権とは、例えば以下のものが該当します。

- ・児童労働、強制労働の禁止
- ・事業活動における各種人権差別的禁止(人種、性別、宗教、国籍、年齢、性的指向など)
- ・通信事業に関わるものとして通信の秘密の保護、表現の自由の制約、基地局建設に関わる立ち退き要請など

■ 環境部会

KDDIおよびグループ会社のCSR活動、環境保全活動に関わる方針ならびに計画などに関する事項について協議します。

CSR推進・社内浸透体制



注 全国を10地域にわけ、各地域のCSR活動、総務・人事関連を管轄する部門